



# Cisco MultiScale™ 搭載 Cisco ASA 5585-X の導入

この章では、Cisco MultiScale™ を搭載した Cisco ASA 5585-X について説明します。次の項で構成されています。

- ・「製品概要」(P.1-1)
- ・「前面パネルと背面パネルの機能」(P.1-4)
- ・「仕様」(P.1-11)
- ・「メモリ構成」(P.1-12)
- ・「電源モジュールの必要条件」(P.1-13)
- ・「SFP/SFP+ モジュール」(P.1-14)



(注) 取り付け手順を開始する前に、ガイド全体を参照してください。



警告

この装置の設置、交換、保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。ステートメント 49



注意

このガイドの手順を実行するときは、ドキュメント『Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco ASA 5585-X Adaptive Security Appliance』の安全に関する警告を読み、適切な安全手順に従ってください。

## 製品概要

ASA 5585-XMultiScale を特徴とする適応型セキュリティ アプライアンスは、2RU の 2 スロット シャーシです。市場でパフォーマンス密度が最も高いファイアウォールをサポートしている ASA 5585-X の設計は、スループットだけでなく接続速度の速さと最大接続数の点でも、高いスケーラビリティを提供します。接続速度および最大接続数の必要条件は、ほとんどのカスタマー データセンター ネットワークにおいてスループットよりも急速に伸びています。ASA 5585-X の機能は、データセンターのスループット、接続容量、接続速度の面におけるスケーラビリティの問題に同時にに対処するのに役立ちます。

各 ASA 5585-X シャーシには統合ファンを含む AC 電源モジュールが 2 台まで内蔵されます。お客様は、代わりに 2 番めのベイにファン モジュールの取り付けが可能です。Security Services Processor (SSP) はスロット 0 (下部スロット) に配置されます。スロット 1 (最上位スロット) には、追加の SSP、オプションの侵入防御システム Security Services Processor (IPS SSP)、オプションの Cisco ASA 5585-X CX Security Services Processor (ASA CX SSP)、または 2 台までのネットワーク モジュールを装着できます。ポート番号はすべて、右から左へと 0 から順に付番されます。



- (注)** ASA 5585-X は、ASA 5585-X SSP-40 モデルおよび ASA 5585-X SSP-60 モデルについてデュアルファイアウォール モードをサポートします。SSP は一致する必要があります。つまり、1 つのシャーシに SSP-40 を共存させるか SSP-60 を共存させます。



デュアルファイアウォール モードは ASA ソフトウェアの特定のバージョンにおいてのみサポートされます。詳細については、次の URL にある『Cisco ASA Compatibility』を参照してください。  
<http://www.cisco.com/en/US/docs/security/asa/compatibility/asamatr.html>

ASA 5585-X シリーズには以下の 4 種類のモデルがあります。

- Security Services Processor-10 搭載 ASA 5585-X
- Security Services Processor-20 搭載 ASA 5585-X
- Security Services Processor-40 搭載 ASA 5585-X
- Security Services Processor-60 搭載 ASA 5585-X

世界水準のパフォーマンスに加えて、ASA 5585-X は暗号化トラフィックの検査、ポート密度（モデルによって最大 20 個のインターフェイス）、および機能パフォーマンスマッチング（つまり、ファイアウォール機能と IPS 機能の間のパフォーマンス パリティ）を配備します。すべての ASA 5585-X シリーズの適応型セキュリティ アプライアンスはコア SSP に同梱されます。追加の SSP、IPS SSP、ASA CX SSP またはネットワーク モジュールはオプションです。他のモジュールを実行するには、コア SSP が必要です。

オプションの冗長なホット スワップ可能電源モジュールに加えて、ファン故障時のホット スワップ可能なファン モジュールも使用可能です。



**(注)** SSP、IPS SSP、ASA CX SSP およびネットワーク モジュールの活性挿抜 (OIR) は、現在サポートされていません。SFP/SFP+、電源モジュールおよびファン モジュールの OIR がサポートされています。

## ASDM

また、適応型セキュリティ アプライアンスのソフトウェアは Cisco Adaptive Security Device Manager (ASDM) をサポートしています。ASDM では、直感的で使用が容易な Web ベースの管理インターフェイスにより、ワールドクラスのセキュリティ管理と監視機能が提供されています。適応型セキュリティ アプライアンスにバンドルされた ASDM により、市場をリードする適応型セキュリティ アプライアンスのソフトウェア スイートで提供される高度な統合型セキュリティ機能とネットワーク機能を補う、インテリジェント ウィザード、堅牢な管理ツール、および多用途モニタリング サービスを備えた適応型セキュリティ アプライアンスの導入が促進されます。安全な Web ベースの設計によって、いつでも、どこからでも、適応型セキュリティ アプライアンスへのアクセスが可能です。

SSP は環境モニタリングを提供し、ファンと電源モジュールの動作ステータスを追跡します。また、CPU の温度およびシステムの周囲温度をトレースします。

## IDM

IPS SSP は Intrusion Prevention System Device Manager (IDM) 7.1 をサポートします。IDM は直感的で使いやすい Web ベースの管理インターフェイスにより、セキュリティ管理と監視機能を提供します。IDM は IPS SSP を設定および管理するための Java Web Start アプリケーションです。IDM は、IPS 7.1 にバンドルされます。この Web サーバには、Internet Explorer や Firefox などの Web ブラウザでアクセスできます。

## IME

Intrusion Prevention System Manager Express (IME) 7.1 は IPS SSP もサポートしています。IME は、システムのヘルス モニタリング、イベント モニタリング、コラボレーション モニタリング、レポートおよび最大 10 のセンサーの設定を行うことができるネットワーク管理アプリケーションです。IME はカスタマイズ可能なダッシュボードを使用してセンサーの状態を監視し、Cisco Security Intelligence Operations サイトからの RSS フィードの統合により、セキュリティの警告を提供します。グローバル コリレーション データはモニタされ、イベントおよびレポートが表示されます。これはイベントを監視し、フィルタリング、グループ化、色分けによるビューのソートを可能にします。IME は、ping、traceroute、DNS ルックアップおよび選択したイベントに関する whois ルックアップなどのツールもサポートします。また、柔軟なレポート作成ネットワークが含まれます。これは、IPS デバイスの監視と設定のシームレスな統合を可能にするための IDM コンフィギュレーションコンポーネントを埋め込みます。IME ではセンサーのセットアップ、ポリシーの設定、IPS イベントの監視、レポートの作成が可能です。IME はシングル アプリケーション モードで動作します。すべてのアプリケーションは 1 つのシステムにインストールされ、そのシステムから全体を管理できます。

## PRSM

Cisco Prime Security Manager (PRSM) では 1 つの ASA CX SSP (PRSM シングル デバイス モード) または複数の ASA CX SSP (PRSM マルチ デバイス モード) を管理できます。ASA CX SSP を PRSM のインベントリへ追加することにより、デバイス間で一貫したポリシーを適用できます。すべての設定を PRSM により行って管理対象デバイスに展開し、管理対象デバイスによって生成されるすべてのイベントが PRSM に表示されます。

## ASA 5585-X SSP-10

ASA 5585-X SSP-10 は、ファイアウォール、VPN サポート、および 10 本のインターフェイス (SFP/SFP+ 2 本、銅ギガビットイーサネット 8 本) を提供します。SSP-10 には 1 台の電源モジュールと 1 個のファン モジュールがあります。冗長電源装置の構成では、ファン モジュールを別の電源モジュールと交換できます。SSP-10 には 1 個の CPU、3 個の DIMM モジュール、1 個の内蔵暗号化アクセラレータ、および SFP/SFP+ インターフェイス用の 1 個のデュアル ポート 10 GB アップリンクが用意されています。

侵入防止システムの保護機能と、さらに 10 本のインターフェイスを追加する IPS SSP-10、またはコンテキスト連動ファイアウォール保護機能とさらに 10 本のインターフェイスを追加する ASA CX SSP-10 を一緒に注文することもできます。

## ASA 5585-X SSP-20

ASA 5585-X SSP-20 は、ファイアウォール、VPN サポート、および 10 本のインターフェイス (SFP/SFP+ 2 本、銅ギガビットイーサネット 8 本) を提供します。SSP-20 には 1 台の電源モジュールと 1 個のファン モジュールがあります。冗長電源装置の構成では、ファン モジュールを別の電源モジュールと交換できます。SSP-20 には 1 個の CPU、6 個の DIMM モジュール、2 個の内蔵暗号化アクセラレータ、および SFP/SFP+ インターフェイス用の 1 個のデュアル ポート 10 GB アップリンクが用意されています。

侵入防止システムの保護機能と、さらに 10 本のインターフェイスを追加する IPS SSP-20、またはコンテキスト連動ファイアウォール保護機能とさらに 10 本のインターフェイスを追加する ASA CX SSP-20 を一緒に注文することもできます。

## ■ 前面パネルと背面パネルの機能

### ASA 5585-X SSP-40

ASA 5585-XSSP-40 は、ファイアウォール、VPN サポート、および 10 本のインターフェイス (SFP/SFP+ 4 本、銅ギガビットイーサネット 6 本) を提供します。SSP-40 には 1 台の電源モジュールと 1 個のファン モジュールがあります。冗長電源装置の構成では、ファン モジュールを別の電源モジュールと交換できます。SSP-40 には 2 個の CPU、6 個の DIMM モジュール、3 個の内蔵暗号化アクセラレータ、および SFP/SFP+ インターフェイス用の 2 個のデュアル ポート 10 GB アップリンクが用意されています。

もう 1 つの SSP-40、または侵入防止システムの保護機能とさらに 10 本のインターフェイスを追加する IPS SSP-40 を一緒に注文することもできます。

### ASA 5585-X SSP-60

ASA 5585-XSSP-60 は、ファイアウォール、VPN サポート、および 10 本のインターフェイス (SFP/SFP+ 4 本、銅ギガビットイーサネット 6 本) を提供します。SSP-60 には 2 個の電源モジュールが同梱されます。ただし、SSP-60 は 1 台の電源モジュールのみでしか機能しません。IPS SSP-60 と連動する SSP-60 も 1 台の電源モジュールでしか動作しませんが、電源モジュールは負荷分散モードで動作するため、信頼性を増大するために 2 台の電源モジュールを取り付けることを推奨します。この構成で失敗しても、故障した電源モジュールが交換されるまで、もう一方の電源モジュールがすべての負荷を処理できます。SSP-60 には 2 個の CPU、12 個の DIMM モジュール、4 個の内蔵暗号化アクセラレータ、および SFP/SFP+ インターフェイス用の 2 個のデュアル ポート 10 GB アップリンクが用意されています。

もう 1 つの SSP-60、または侵入防止システムの保護機能とさらに 10 本のインターフェイスを追加する IPS SSP-60 を一緒に注文することもできます。



#### 注意

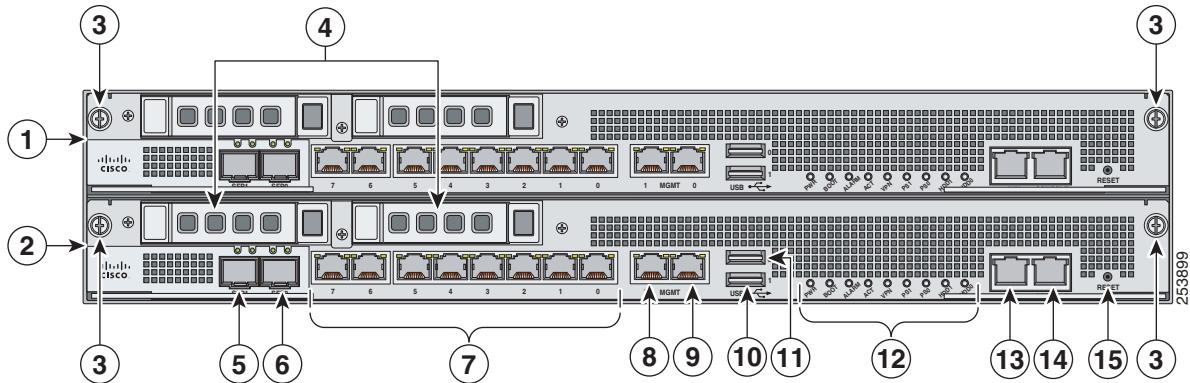
電源モジュールまたはファン モジュールを取り外す際は、サービスの中止を防ぐためにただちに交換してください。

## 前面パネルと背面パネルの機能

ここでは、ASA 5585-X の前面パネルと背面パネルの機能とインジケータについて説明します。

図 1-1 (P.1-5) は、IPS SSP-10 が最上位スロットにある ASA 5585-X SSP-10 の前面を示します。この図は IPS SSP-10 搭載の ASA 5585-X SSP-10 を表していますが、最上位スロットに ASA CX SSP-10 を搭載した ASA 5585-X SSP-10、および IPS SSP-20 または ASA CX SSP-20 を最上位スロットに搭載した ASA 5585-X SSP-20 にも適合します。

図 1-1 IPS SSP-10 搭載 ASA 5585-X SSP-10 の前面パネル外観



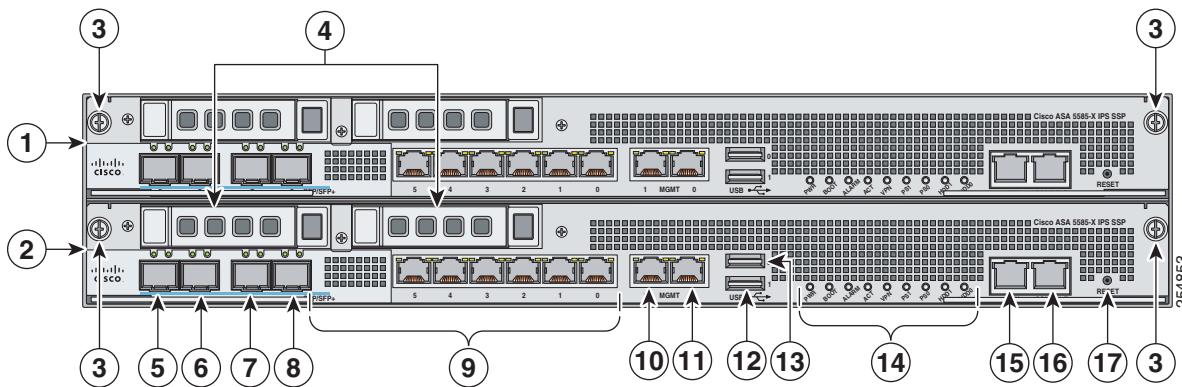
<b>1</b>	IPS SSPASA CX SSP、またはネットワーク モジュール（スロット 1）	<b>2</b>	コア SSP（スロット 0）
<b>3</b>	SSP/IPS SSP/ASA CX SSP 取り外し可能ネジ	<b>4</b>	ハードディスク ドライブのベイは下部スロットに予約されている ASA CX SSP ハードディスク ドライブは最上位スロットにある <sup>1</sup>
<b>5</b>	TenGigabitEthernet 0/9（スロット 0 に SSP） TenGigabitEthernet 1/9（IPS SSP またはスロット 1 に ASA CX SSP） (10 GB ファイバ、SFP、または SFP+)	<b>6</b>	TenGigabitEthernet 0/8（スロット 0 に SSP） TenGigabitEthernet 1/8（IPS SSP またはスロット 1 に ASA CX SSP） (10 GB ファイバ、SFP、または SFP+)
<b>7</b>	GigabitEthernet 0/0～0/7（スロット 0 に SSP） GigabitEthernet 1/0 から 1/7（IPS SSP またはスロット 1 に ASA CX SSP） (右から左に、1 GB 銅、RJ45)	<b>8</b>	管理 0/1（スロット 0 に SSP） 管理 1/1（IPS SSP またはスロット 1 に ASA CX SSP） (GigabitEthernet RJ45)
<b>9</b>	管理 0/0（スロット 0 に SSP） 管理 1/0（IPS SSP またはスロット 1 に ASA CX SSP） (GigabitEthernet RJ45)	<b>10</b>	USB ポート
<b>11</b>	USB ポート	<b>12</b>	前面パネルのインジケータ
<b>13</b>	AUX ポート (RJ45) <sup>2</sup>	<b>14</b>	コンソール ポート (RJ45)
<b>15</b>	イジェクト <sup>3</sup>		

1. ハードディスク ドライブは現在、上端のスロットに搭載される ASA CX SSP にのみサポートされる
2. RJ-45 補助ポート（シャーシに AUX とラベル付け）はシスコ内部で使用するために予約されています。ポートはシャーシの出荷バージョンでは機能しません。したがって、お客様はこのポートに接続して適応型セキュリティ アプライアンス CLI を実行することはできません。
3. OIR の将来の使用に備えて予約済み

## ■ 前面パネルと背面パネルの機能

図1-2はIPS SSP-40搭載のASA 5585-X SSP-40の正面図を示しています。この図は、最上位スロットにIPS SSP-40を搭載したASA 5585-X SSP-40を示していますが、最上位スロットにSSP-40を搭載したASA 5585-X SSP-40もしくは最上位スロットにSSP-60またはIPS SSP-60を搭載したASA 5585-X SSP-60にも適合します。

図1-2 IPS SSP-40搭載 ASA 5585-X SSP-40の前面パネル外観

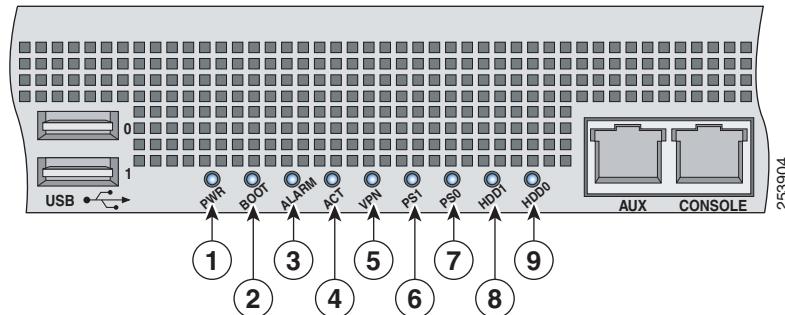


1	IPS SSP、追加 SSP またはネットワーク モジュール (スロット 1)	2	コア SSP (スロット 0)
3	/SSP/IPS SSP 取り外し可能ネジ	4	ハードディスク ドライブ用に予約されたベイ <sup>1</sup>
5	TenGigabitEthernet 0/9 (スロット 0 に SSP) TenGigabitEthernet 1/9 (スロット 1 に IPS SSP) (10 GB ファイバ、SFP、または SFP+)	6	TenGigabitEthernet 0/8 (スロット 0 に SSP) TenGigabitEthernet 1/8 (スロット 1 に IPS SSP) (10 GB ファイバ、SFP、または SFP+)
7	TenGigabitEthernet 0/7 (スロット 0 に SSP) TenGigabitEthernet 1/7 (スロット 1 に IPS SSP) (10 GB ファイバ、SFP、または SFP+)	8	TenGigabitEthernet 0/6 (スロット 0 に SSP) TenGigabitEthernet 1/6 (スロット 1 に IPS SSP) (10 GB ファイバ、SFP、または SFP+)
9	GigabitEthernet 0/0～0/5 (スロット 0 に SSP) GigabitEthernet 1/0 から 1/5 (スロット 1 に IPS SSP) (右から左に、1 GB 銅、RJ45) <sup>2</sup>	10	管理 0/1 (スロット 0 に SSP) 管理 1/1 (スロット 1 に IPS SSP) (GigabitEthernet RJ45)
11	管理 0/0 (スロット 0 に SSP) 管理 1/0 (スロット 1 に IPS SSP) (GigabitEthernet RJ45)	12	USB ポート
13	USB ポート	14	前面パネルのインジケータ
15	AUX ポート (RJ45) <sup>3</sup>	16	コンソール ポート (RJ45)
17	イジェクト <sup>4</sup>		

1. ハードディスク ドライブは現在サポートされていません。ハードディスク ドライブ ベイは空です。
2. IPS ポートは GigabitEthernet 1/0 から 1/5 です。
3. RJ-45 補助ポート（シャーシに AUX とラベル付け）はシスコ内部で使用するために予約されています。ポートはシャーシの出荷バージョンでは機能しません。したがって、お客様はこのポートに接続して適応型セキュリティ アプライアンス CLI を実行することはできません。
4. OIR の将来の使用に備えて予約済み

図 1-3 に、前面パネルのインジケータを示します。

図 1-3 ASA 5585-X 前面パネルのインジケータ



<b>1</b>	PWR	<b>2</b>	BOOT
<b>3</b>	ALARM	<b>4</b>	ACT
<b>5</b>	VPN	<b>6</b>	PS1
<b>7</b>	PS0	<b>8</b>	HDD1
<b>9</b>	HDD2		

表 1-1 に、ASA 5585-X の前面パネルにあるインジケータを示します。

表 1-1 ASA 5585-X 前面パネルのインジケータ

インジケータ	説明
PWR	システムがオフであるかオンであるかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>消灯：電源が入っていません。</li> <li>緑：システムに電源が入っています。</li> </ul>
BOOT	電源投入診断の進捗状況を示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>緑の点滅：電源投入診断を実行中か、システムがブート中です。</li> <li>緑：システムは電源投入診断に合格しました。</li> <li>オレンジ：電源投入診断に失敗しました。</li> </ul>
ALARM	コンポーネントに障害が発生したかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>消灯：アラームなし。</li> <li>黄色の点滅：重大なアラーム。</li> </ul> ハードウェアコンポーネントまたはソフトウェアモジュールの重大な障害、限度を超える温度、許容範囲外の電力、またはOIRによるモジュール削除準備が整った状態。 <sup>1</sup>
ACT	HAペアの状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>緑：アクティブモードであり、フェールオーバーペアの一部であるユニットの状態。</li> <li>オレンジ：スタンバイモードであり、フェールオーバーペアの一部であるユニットの状態。</li> </ul>

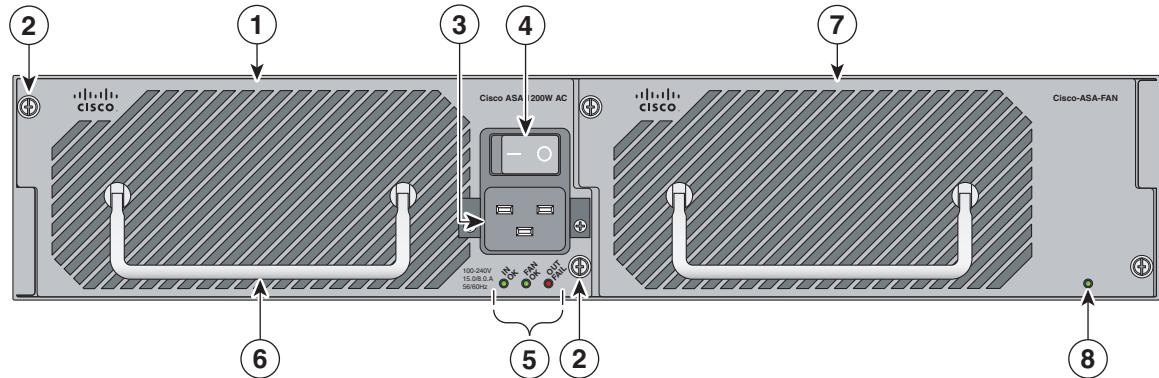
表 1-1 ASA 5585-X 前面パネルのインジケータ（続き）

インジケータ	説明
VPN	VPN トンネルが確立されているかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>緑：VPN トンネルが確立されています。</li> </ul>
PS1	背面パネルから向かって右側に設置された電源モジュールの状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>消灯：電源モジュールが存在しない、または AC 入力なし。</li> <li>緑：電源モジュールが存在し、オンになっており、良好な状態である。</li> <li>オレンジ：電源またはファン モジュールがオフになっているか障害がある。</li> </ul>
PS0	背面パネルから向かって左側に設置された電源モジュールの状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>消灯：電源モジュールが存在しない、または AC 入力なし。</li> <li>緑：電源モジュールが存在し、オンになっており、良好な状態である。</li> <li>オレンジ：電源またはファン モジュールがオフになっているか障害がある。</li> </ul>
HDD1	ハードディスク ドライブのアクティビティを示します。 <sup>2</sup> <ul style="list-style-type: none"> <li>消灯：ハードディスク ドライブが存在しない。</li> <li>緑の点滅：ハードディスク ドライブの動作中</li> <li>オレンジ：ハードディスク ドライブの障害</li> </ul>
HDD2	ハードディスク ドライブのアクティビティを示します。 <sup>2</sup> <ul style="list-style-type: none"> <li>消灯：ハードディスク ドライブが存在しない。</li> <li>緑の点滅：ハードディスク ドライブの動作中</li> <li>オレンジ：ハードディスク ドライブの障害</li> </ul>

- OIR は現在利用できません。
- ハードディスク ドライブは ASA CX SSP のみでサポートされます。

図 1-4 に、背面パネルの機能を示します。

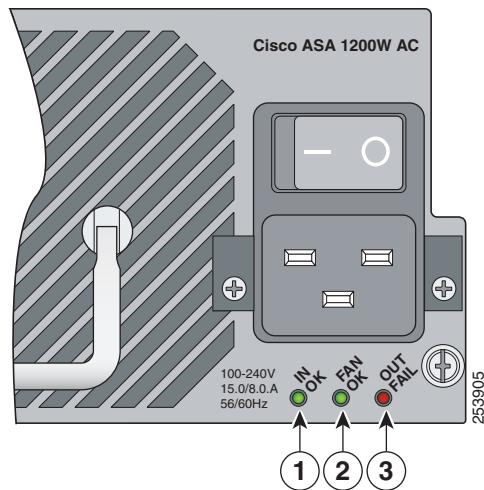
図 1-4 ASA 5585-X 背面パネルの機能



1	電源モジュール (PS1 インジケータに対応)	2	電源モジュールまたはファン モジュールの取り外しのネジ
3	電源モジュールのプラグ	4	電源モジュールの電源オン/オフ スイッチ
5	電源モジュールのインジケータ	6	電源モジュールまたはファン モジュールのハンドル
7	ファン モジュール	8	ファン モジュールのインジケータ

図 1-5 に、電源モジュールのインジケータを示します。

図 1-5 ASA 5585-X 電源モジュールのインジケータ



1	IN OK	2	FAN OK
3	OUT FAIL		

## ■ 前面パネルと背面パネルの機能

表 1-2 に、電源モジュールおよびファン モジュールのインジケータを示します。

**表 1-2 電源モジュールおよびファン モジュールのインジケータ**

インジケータ	説明
IN OK	電源モジュールの状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>消灯：AC 電源コードが接続されていないか AC 電源スイッチがオフになっている。</li> <li>緑：AC 電源コードが接続され、AC 電源スイッチがオンになっている。</li> </ul>
FAN OK	ファン モジュールの状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>消灯：ファン モジュールに障害があるか AC 電源スイッチがオフになっている。</li> <li>緑：AC 電源コードが接続され、AC 電源スイッチがオンであり、内部ファンが動作中である。</li> </ul>
OUT FAIL	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤：出力電圧の障害<sup>1</sup></li> </ul>

1. 電源モジュールには、3.3V、12V および 50V の 3 種類の出力電圧があります。

表 1-3 で、イーサネット ポート インジケータについて説明します。

**表 1-3 イーサネット ポート インジケータ**

インジケータ	説明
ギガビットイーサネット (RJ45)	<ul style="list-style-type: none"> <li>左側：               <ul style="list-style-type: none"> <li>緑：物理的なアクティビティ</li> <li>緑の点滅：ネットワークのアクティビティ</li> </ul> </li> <li>右側：               <ul style="list-style-type: none"> <li>消灯：10 Mbps</li> <li>緑：100 Mbps</li> <li>オレンジ：1000 Mbps</li> </ul> </li> </ul>

表 1-3 イーサネットポートインジケータ（続き）

インジケータ	説明
10 ギガビットイーサネット ファイバ (SFP+) / 1 ギガビットイーサネット ファイバ (SFP)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 左側 :           <ul style="list-style-type: none"> <li>— 消灯 : 10 ギガビットイーサネット物理リンクなし</li> <li>— 緑 : 10 ギガビットイーサネット物理リンク</li> <li>— 緑の点滅<sup>1</sup> : ネットワーク アクティビティ</li> </ul> </li> <li>• 右側 :           <ul style="list-style-type: none"> <li>— 消灯 : 1 ギガビットイーサネット物理リンクなし</li> <li>— 緑 : 1 ギガビットイーサネット物理リンク</li> <li>— 緑の点滅<sup>1</sup> : ネットワーク アクティビティ</li> </ul> </li> </ul>
管理ポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 左側 :           <ul style="list-style-type: none"> <li>— 緑 : 物理的なアクティビティ</li> <li>— 緑の点滅 : ネットワークのアクティビティ</li> </ul> </li> <li>• 右側 :           <ul style="list-style-type: none"> <li>— 消灯 : 10 Mbps</li> <li>— 緑 : 100 Mbps</li> <li>— オレンジ : 1000 Mbps</li> </ul> </li> </ul>

1. 点滅は受信したパケット数またはバイトの比率に比例します。

## 仕様

表 1-4 に、ASA 5585-X の仕様を示します。

表 1-4 ASA-5585-X の仕様

寸法と重量	
高さ	3.47 インチ (8.8 cm)
幅	19 インチ (48.3 cm)
奥行	26.5 インチ (67.3 cm)
重量	1 台の SSP および 1 個の電源モジュールを伴う場合 50 ポンド (22.7 kg) SSP、IPS SSP、2 個の電源モジュールを伴う場合 62 ポンド (28.20 kg)
フォーム フакタ	2 RU、標準 19 インチ ラック搭載可能
電源	
AC 入力	
定格入力電圧 (電源モジュールごとに)	100 ~ 240 VAC
定格入力周波数	50 ~ 66 Hz

表 1-4 ASA-5585-X の仕様（続き）

定格入力電力 (電源モジュールごとに)	1161 W @ 100 VAC 1598 W @ 200 VAC
定格入力電流 (電源モジュールごとに)	12A (100 VAC) 8A (200 VAC)
標準発熱量	1280 BTU/時 (1 SSP) 2200 BTU/時 (2 SSP)
電源装置出力の定常状態（通常） 最大ピーク	320 W (1 SSP) 670 W (1 SSP および 1 IPS SSP)  370 W (1 SSP) 770 W (1 SSP および 1 IPS SSP)
<b>DC 入力</b>	
定格入力電圧 (電源モジュールごとに)	-48 VDC ~ -60 VDC
定格入力電力 (電源モジュールごとに)	1353 W @ -48 VDC 1403 W @ -60 VDC
定格入力電流 (電源装置ごとに)	33 A
最大熱放散	5450 BTU/時
電源装置出力の定常状態（通常） 最大ピーク	320 W (1 SSP) 670 W (1 SSP および 1 IPS SSP)  370 W (1 SSP) 770 W (1 SSP および 1 IPS SSP)
<b>環境</b>	
温度	32 ~ 104 °F (0 ~ 40 °C) 非動作時 -40 ~ 158 °C (-40 ~ 70 °F)
エアーフロー	前面から背面
相対湿度（結露しないこと）	動作時 10 ~ 90% 非動作時 5 ~ 95%
高度	動作時 0 ~ 10,000 フィート (3,050 m) 非動作時 0 ~ 30,000 フィート (9,144 m)
ノイズ	最大 65 dB

## メモリ構成

ASA 5585-X には CPU ごとに 6 個の DIMM モジュールがあります。DIMM の入力は、プラットフォームによって異なります。[表 1-5](#) に、メモリ構成を示します。

表 1-5 ASA 5585-X メモリ構成

モデル	SSP メモリ	IPS SSP メモリ
SSP-10 搭載 ASA 5585-X	6 GB DRAM	6 GB DRAM
SSP-20 搭載 ASA 5585-X	12 GB DRAM	12 GB DRAM

表 1-5 ASA 5585-X メモリ構成（続き）

モデル	SSP メモリ	IPS SSP メモリ
SSP-40 搭載 ASA 5585-X	12 GB DRAM	24 GB DRAM
SSP-60 搭載 ASA 5585-X	24 GB DRAM	48 GB DRAM



(注)

IPS SSP または ASA CX SSP は SSP モデルと同一レベルである必要があります。たとえば、ASA 5585-X SSP-10 がある場合、IPS SSP-10 しか取り付けられません。

## 電源モジュールの必要条件

表 1-6 に、AC および DC 電源モジュールに関する電源モジュールの要件を示します。

表 1-6 電源モジュールの必要条件

AC 電源モジュール	50 V	12 V	3.3 V_STBY
<b>出力電圧</b>			
最大	52.0 V	12.2 V	3.45 V
公称	50.0 V	12.0 V	3.35 V
最小ハードウェア	48.0 V	11.8 V	3.25 V
<b>出力電流 @ 200 VAC</b>			
最大	17.3 A	27.0 A	1.5 A
最小ハードウェア	0	0	0
<b>出力電流 @ 100 VAC</b>			
最大	17.3 A	27.0 A	1.5 A
最小ハードウェア	0	0	0
DC 電源モジュール	50 V	12 V	3.3 V_STBY
<b>出力電圧</b>			
最大	52.0 V	12.45 V	3.45 V
公称	50.0 V	12.0 V	3.35 V
最小ハードウェア	48.0 V	12.05 V	3.25 V
<b>出力電流 @ -48 VDC</b>			
最大	17.3 A	23.0 A	1.5 A
最小ハードウェア	0	0	0
<b>出力電流 @ -60 VDC</b>			
最大	17.3 A	23.0 A	1.5 A
最小ハードウェア	0	0	0

## SFP/SFP+ モジュール

SFP/SFP+ モジュールは、SFP/SFP+ ポートに差し込まれ、ギガビットイーサネット接続を提供するホットスワップ可能な入出力デバイスです。SFP および SFP+ モジュールはオプションであり、ASA 5585-X には含まれません。それらを別に購入できます。1 GB の場合、SFP が必要です。10Gb の場合、SFP+ が必要です。2つのポートは同じですが、SSP-10 および IPS-20 のライセンスを購入した場合にのみ 10 GB を使用できます。それ以外の場合、ポートは 1 GB に制限されます。SSP-40 および IPS-60 では、ポートは常に 10 GB イネーブルになっています。インターフェイスは 10 GB イネーブルかどうかに関係なく、SSP の場合は TenGigabitEthernet 0/x、ASA 5585-X IPS SSP の場合は TenGigabitEthernet 1/x と呼ばれます。

表 1-7 に、ASA 5585-X がサポートする SFP/SFP+ モジュールを示します。

表 1-7 SFP/SFP+ モジュール

1G SFP モジュール	
GLC-SX-MM	1000BASE-SX SFP モジュール
GLC-SX-MMD	1000BASE-SX 短波長、DOM あり
GLC-LH-SM	1000BASE-LX/LH SFP モジュール
GLC-LH-SMD	1000BASE-LX/LH 長波長、DOM あり
GLC-EX-SMD	1000BASE-EX SFP モジュール、SMF、1310nm、DOM
GLC-T	1000BASE-T 標準
10G SFP+ モジュール	
SFP-10G-ER	10G ER SFP+ モジュール
SFP-10G-SR	10G SR SFP+ モジュール
SFP-10G-LRM	10G LRM SFP+ モジュール
SFP-10G-LR	10G LR SFP+ モジュール
SFP-H10GB-ACU7M	10GBASE-CU SFP+ ケーブル 7 m、アクティブ
SFP-H10GB-ACU10M	10GBASE-CU SFP+ ケーブル 10 m、アクティブ
SFP-H10GB-CU1M	10GBASE-CU SFP+ ケーブル 1 m、パッシブ
SFP-H10GB-CU3M	10GBASE-CU SFP+ ケーブル 3 m、パッシブ
SFP-H10GB-CU5M	10GBASE-CU SFP+ ケーブル 5 m、パッシブ